

# 精華町 子育て支援に関するアンケート調査 結果報告書【概要版】

## 1. 調査目的

本アンケート調査は、2019年度に策定を行う「精華町児童育成計画 子ども・子育て新事業計画」の第2期計画の基礎資料として、教育・保育ニーズや精華町の子育て支援サービスの利用状況や利用意向、また、子育て世帯の生活実態、要望等を把握することを目的として実施しました。

## 2. 調査概要

- 調査対象者：精華町内在住の「就学前児童」「小学生児童」保護者
- 調査期間：2019年2月14日～2月28日
- 調査方法：住民基本台帳をもとに、対象児童のいる世帯を抽出し、郵送配布・郵送回収（「就学前児童」については、保育所でも回収。）

## 3. 回収結果

種類	調査対象者数 (配布数)	有効回収数	有効回収率	(参考) 前回調査 有効回収率
就学前児童	1,499件	787件	52.5%	40.8%
小学生児童	1,235件	567件	45.9%	44.9%

## 4. 報告書の見方

- 回答結果の割合「%」は、有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中の「N (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- 本文中の設問の選択肢について、長い文は簡略化している場合があります。

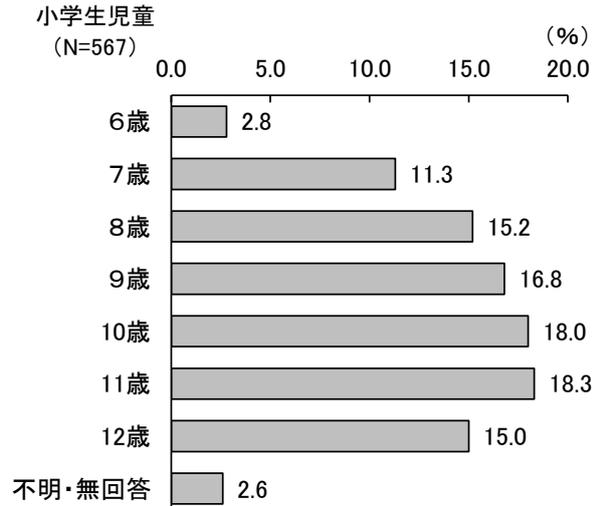
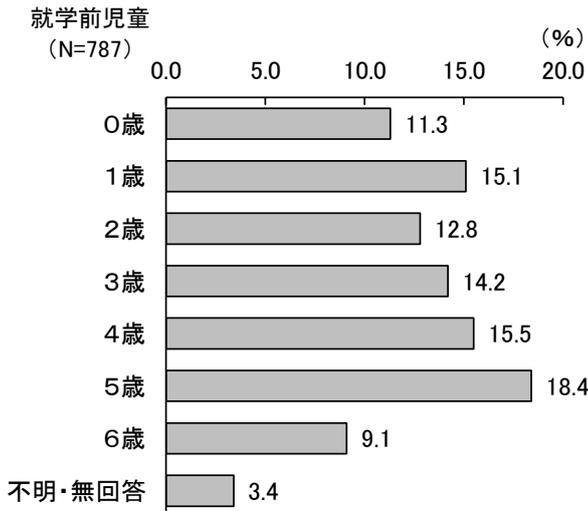
# 1. 家族の状況や保護者の就労状況について

○お子さんの年齢は、以下のとおりです。

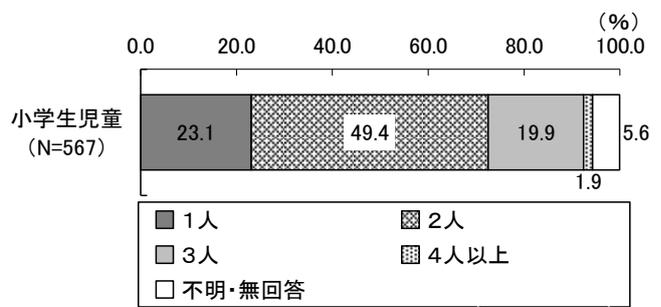
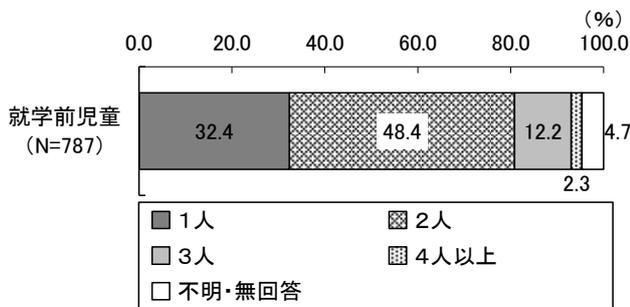
○お子さんの人数は、就学前・小学生ともに「2人」が最も高くなっています。

○子育てを主に行っている方は、就学前は「主に母親」、小学生は「父母ともに」が最も高くなっています。

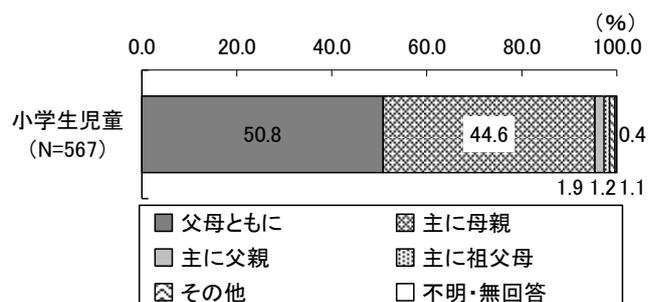
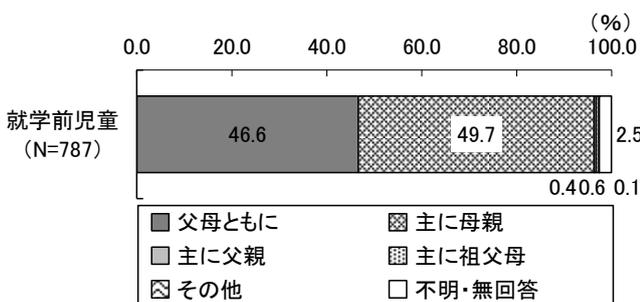
## ■ お子さんの年齢〔就学前・小学生：問2〕



## ■ お子さんの人数〔就学前・小学生：問3〕



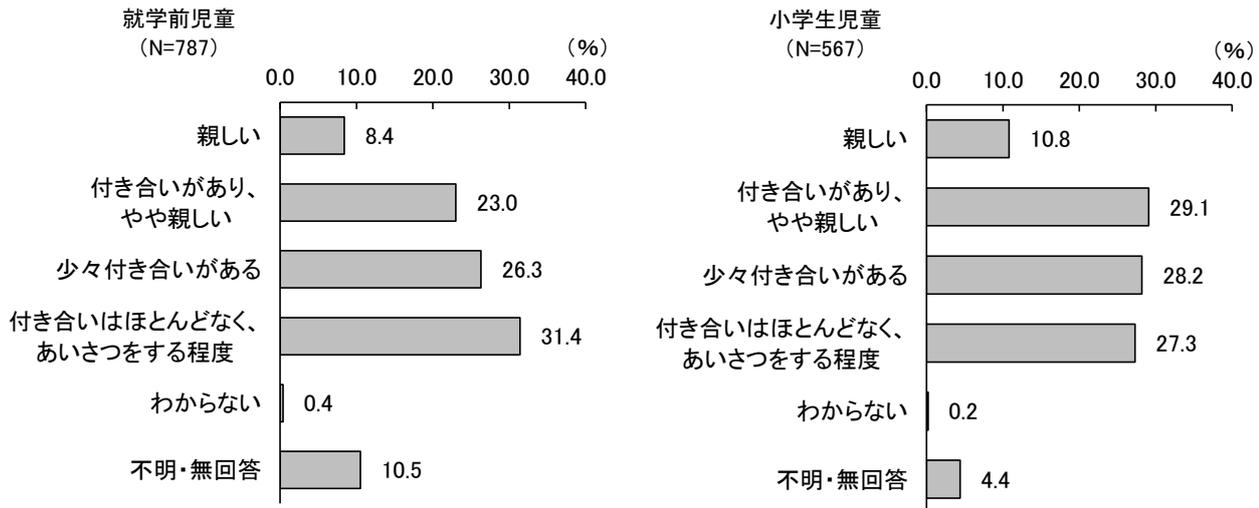
## ■ 子育てを主に行っている方〔就学前・小学生：問9〕



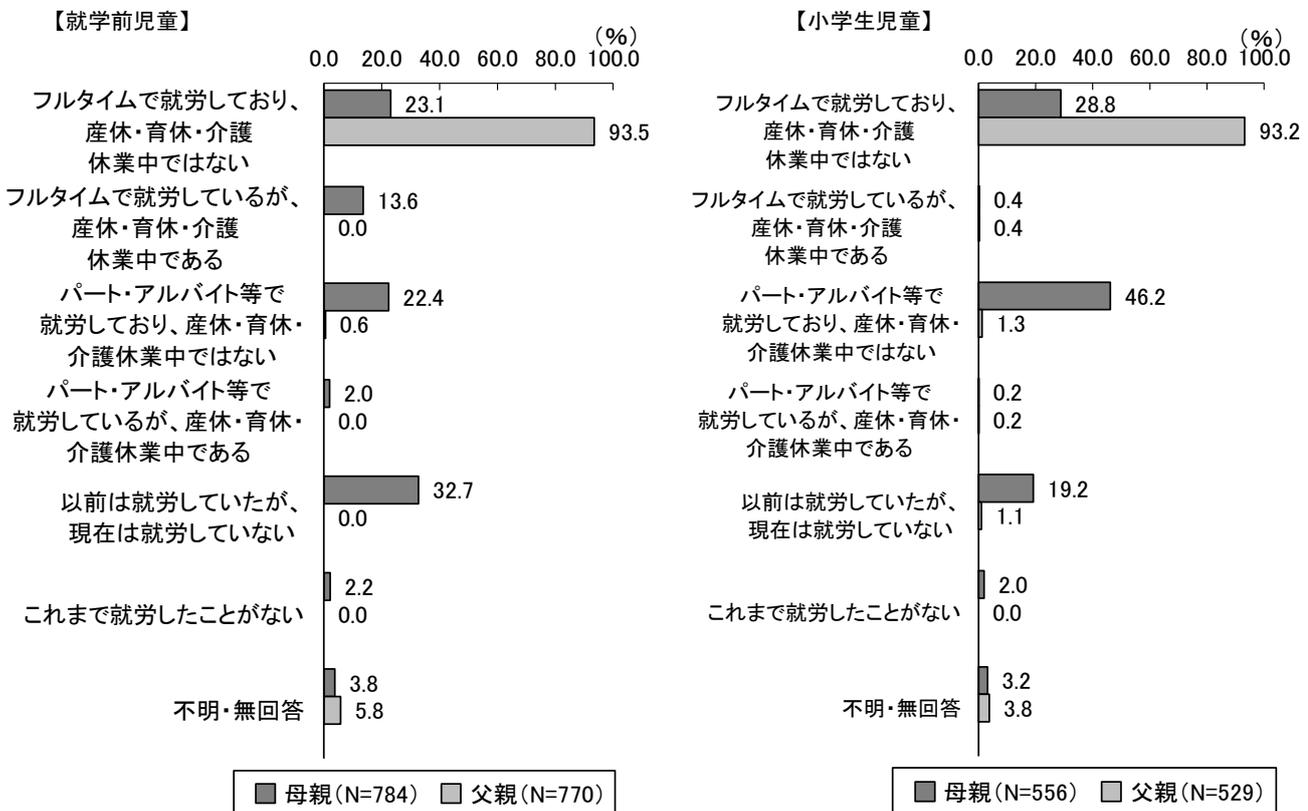
○近所や地域の人々との付き合いの程度は、就学前は「付き合いはほとんどなく、あいさつをする程度」、小学生は「付き合いがあり、やや親しい」が最も高くなっています。

○現在の就労状況について、父親は9割程度がフルタイムで働いています。母親は、就学前ではフルタイムが約4割、就労していない人が約3割、パート・アルバイト等が約2割となっています。小学生ではパート・アルバイト等が約5割、フルタイムが約3割、就労していない人が約2割となっています。※フルタイム、パート・アルバイト等は、産休・育休・介護休業中の方を含みます。

■近所や地域の人々との付き合いの程度〔就学前・小学生：問14〕



■保護者の就労状況〔就学前：問20、小学生：問17〕



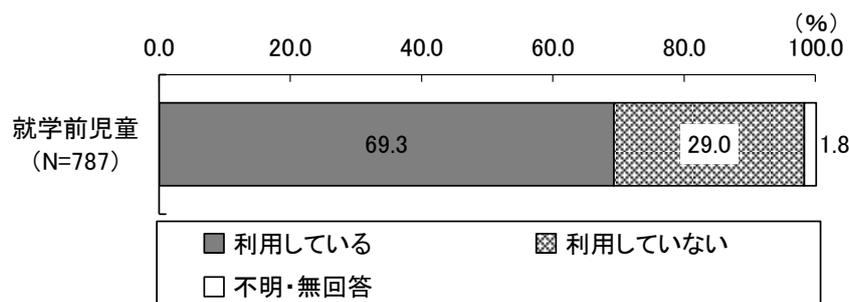
※小学生児童では、「その他」の保護者回答が「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」に1件ありました。

## 2. 定期的な教育・保育の利用について

○幼稚園や保育所等の定期的な教育・保育を利用している人は、約7割となっています。

○利用している教育・保育事業は、「保育所」が最も高く、次いで「幼稚園（預かり保育の定期的な利用なし）」となっています。また、定期的にご利用したい教育・保育では、「幼稚園（預かり保育を定期的にご利用）」「認定こども園」などのニーズもみられます。

### ■ 定期的な教育・保育の利用状況〔就学前：問 21〕

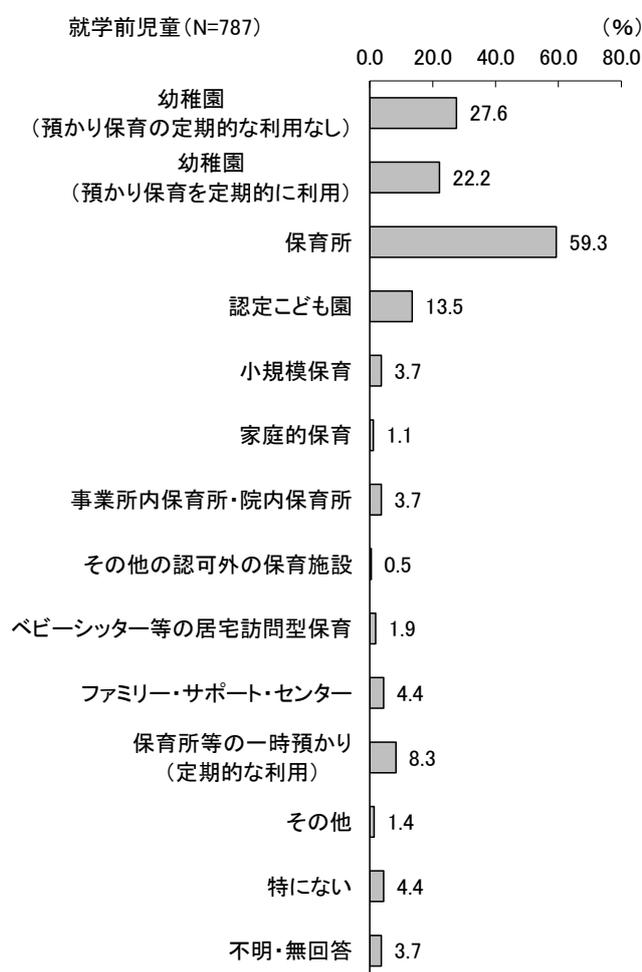
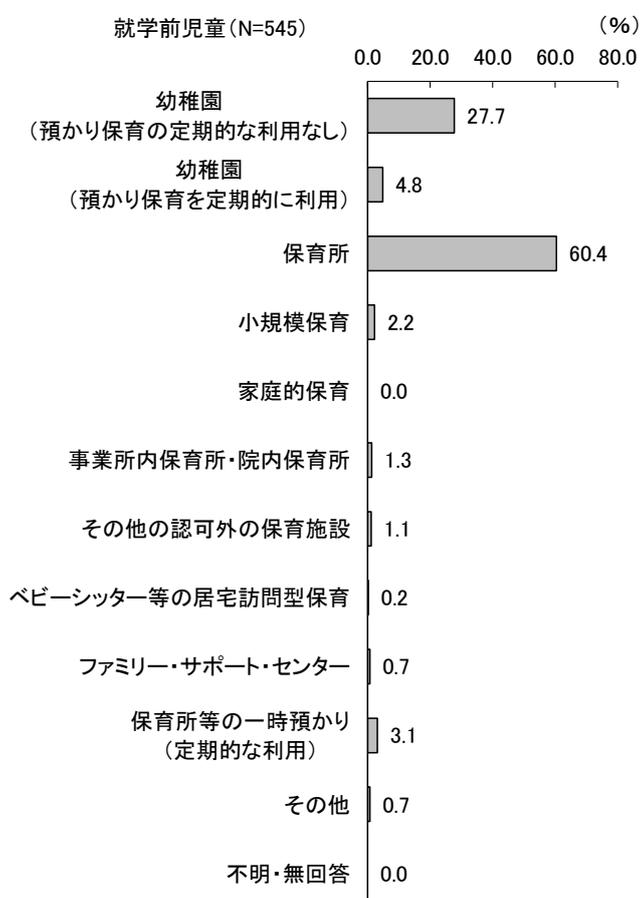


### ■ 定期的にご利用している教育・保育

〔就学前：問 21-1〕

### ■ 定期的にご利用したい教育・保育

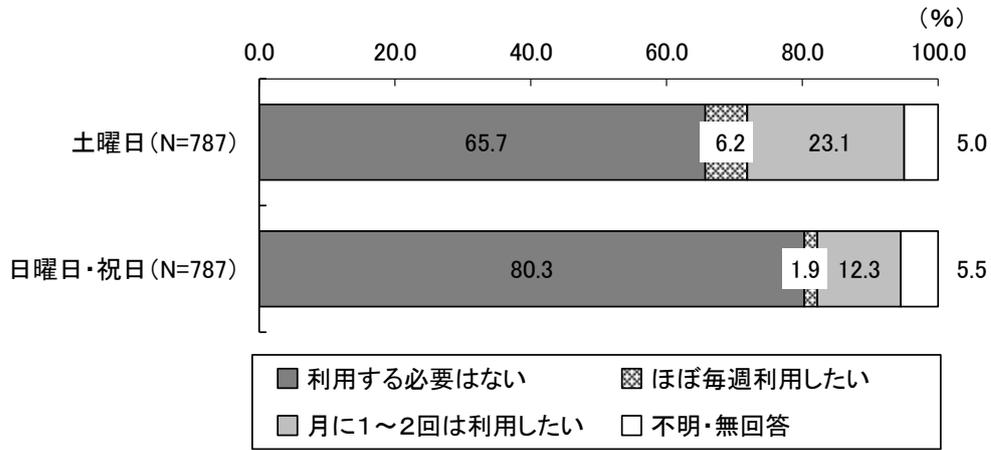
〔就学前：問 22〕



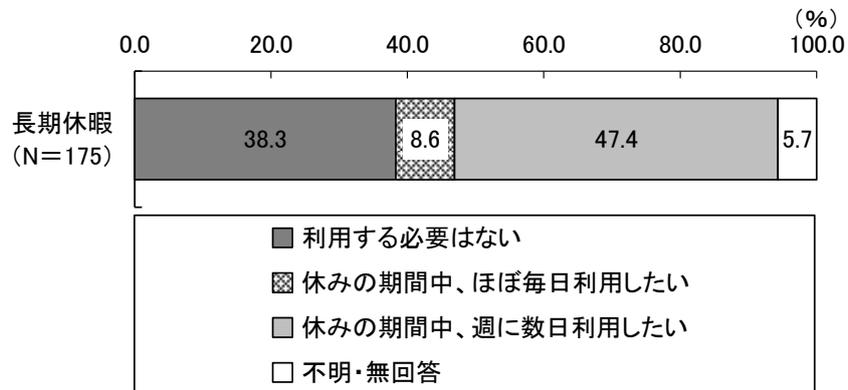
○土曜日や日曜日・祝日の教育・保育の利用希望は、「利用する必要はない」が土曜日は約7割、日曜日・祝日は約8割と最も高くなっています。

○幼稚園利用者の長期休暇中の教育・保育の利用希望は、「休みの期間中、週に数日利用したい」が最も高く、次いで「利用する必要はない」となっています。

■土曜日や日曜日・祝日の教育・保育の利用希望〔就学前：問23〕



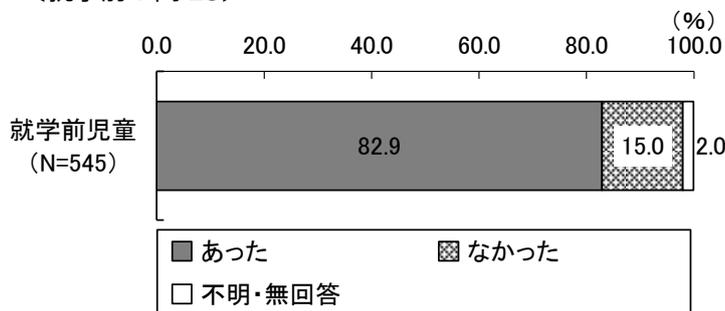
■長期休暇中の教育・保育の利用希望（幼稚園利用者）〔就学前：問24〕



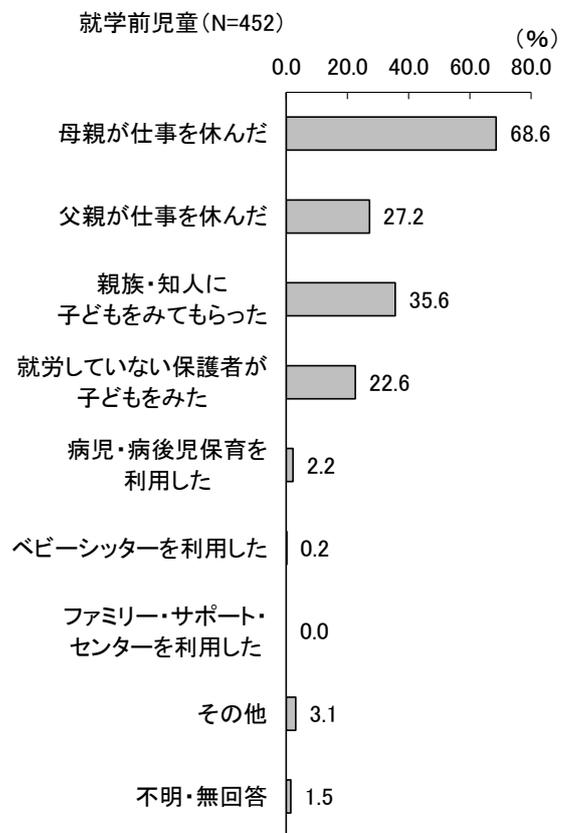
### 3. お子さんの病気の際の対応や不定期の預かりについて

- 病気やけがで、教育・保育事業を利用できなかったことがあった人は、約8割となっています。
- 病気やけがの際の対処方法として、「母親が仕事を休んだ」が最も高くなっており、次いで「親族・知人に子どもをみてもらった」となっています。
- 病児・病後児のための保育施設を利用したいと思わなかった人は6割を超え、利用したくない理由としては、「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」「保護者が休むことができるから」が上位に挙がっています。一方、約3割の人は利用したかったと回答しています。

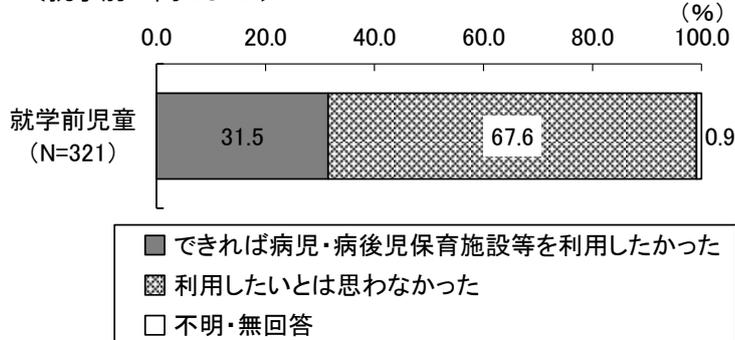
■ 病気やけがで教育・保育を利用できなかった経験  
〔就学前：問 25〕



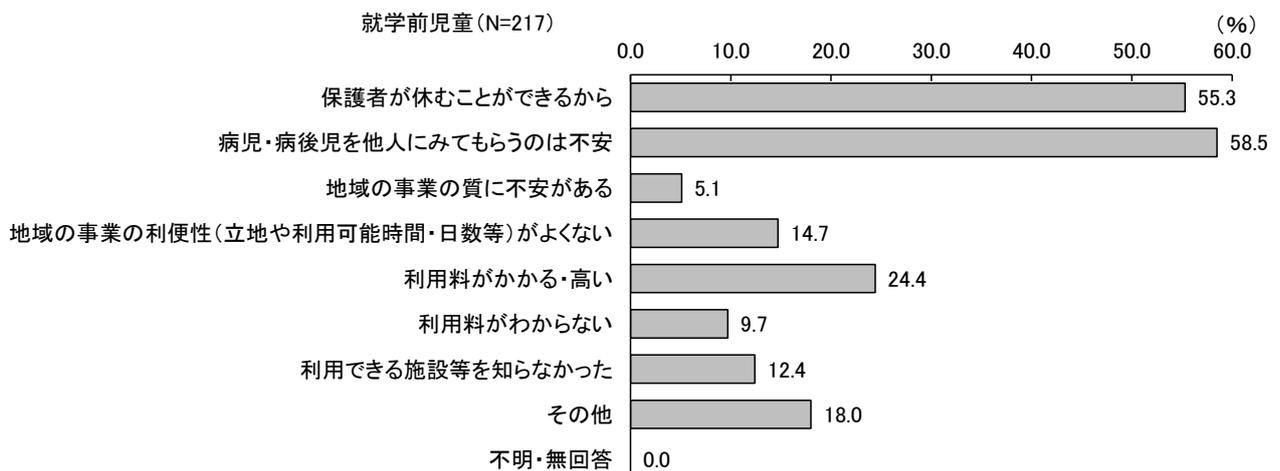
■ 対処方法〔就学前：問 25- 1〕



■ 病児・病後児のための保育施設等の利用意向  
〔就学前：問 25- 2〕



■ 病児・病後児のための保育施設等を利用したいとは思わなかった理由〔就学前：問 25- 4〕

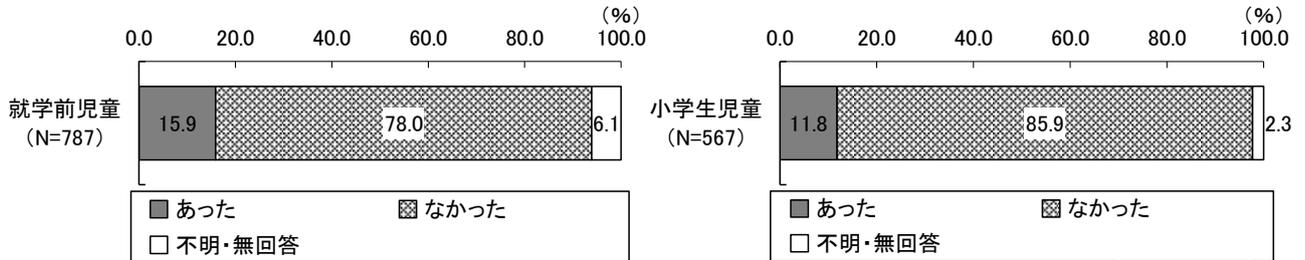


○お子さんを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならなかったことがあった人は、就学前は約2割、小学生は約1割となっています。

○対処方法として、就学前・小学生ともに「親族・知人にみてもらった」が最も高く、次いで「子どもを同行させた」となっています。

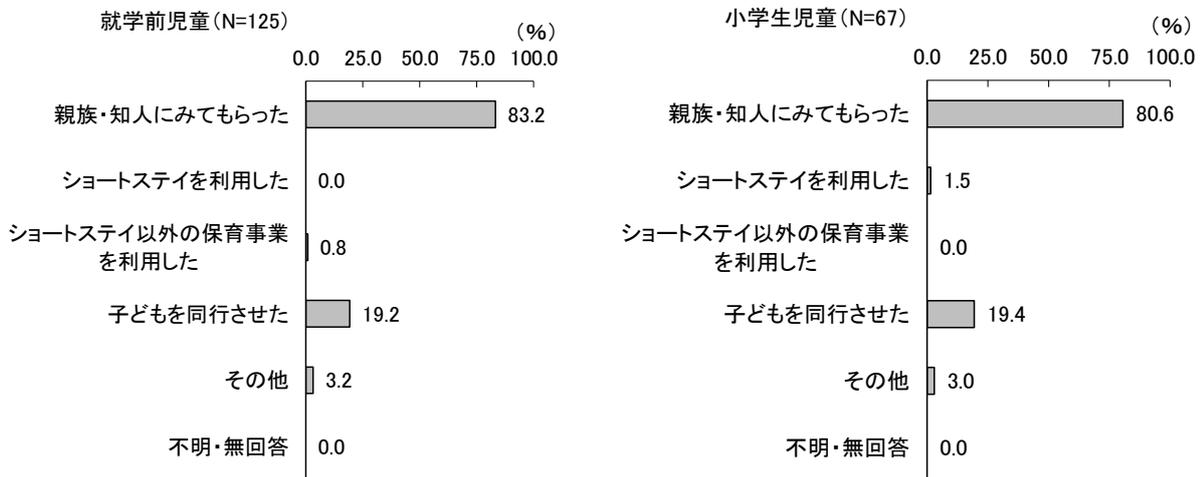
■お子さんを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならなかった経験の有無

〔就学前：問 28、小学生：問 19〕



■お子さんを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならなかった場合の対処方法

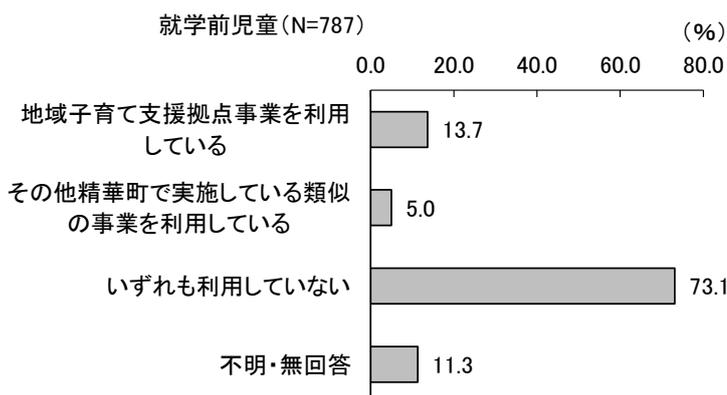
〔就学前：問 28、小学生：問 19〕



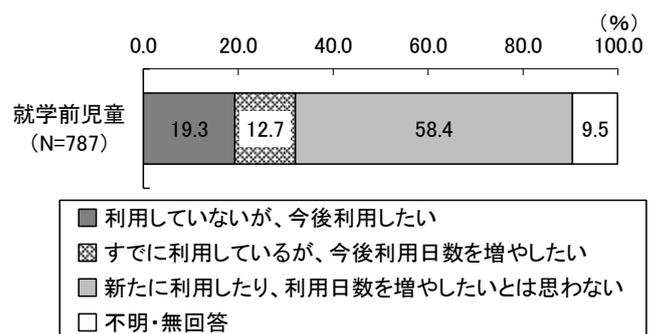
## 4. お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について

○地域子育て支援拠点事業を利用している人（類似事業含む）は約2割となっており、今後利用したい人は約3割となっています。

■地域子育て支援拠点事業の利用状況〔就学前：問 29〕



■地域子育て支援拠点事業の利用意向〔就学前：問 30〕

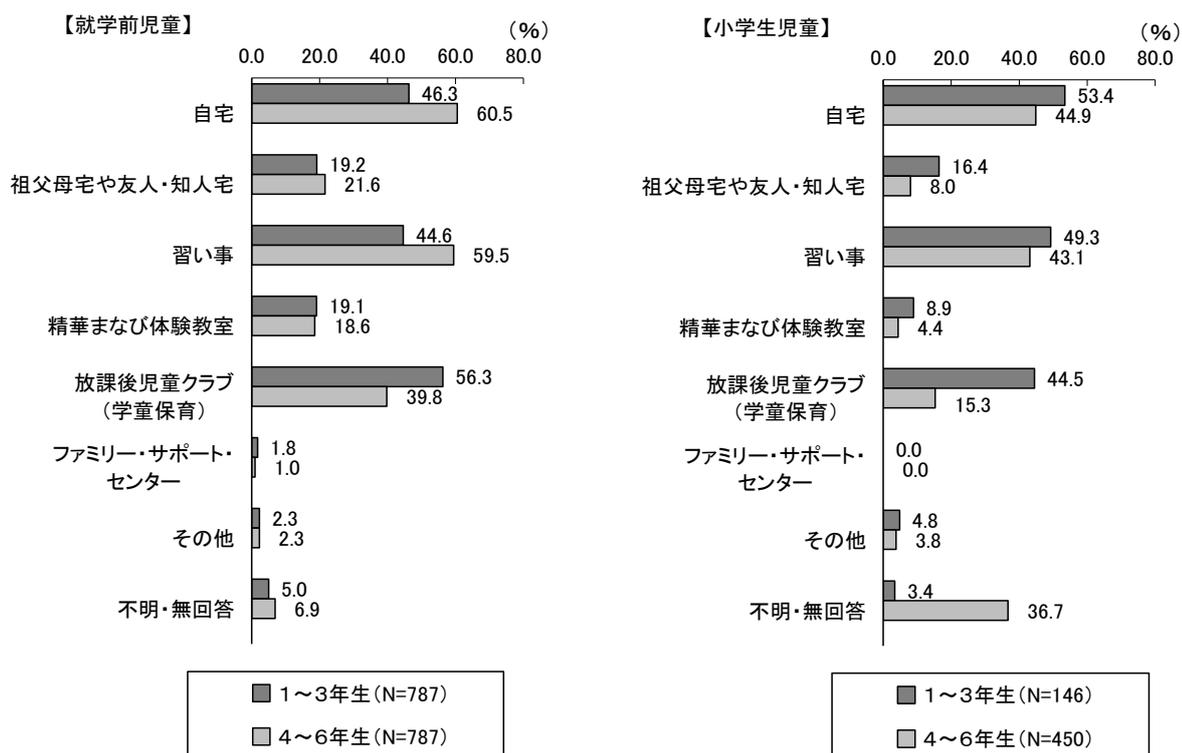


## 5. お子さんの放課後の過ごし方について

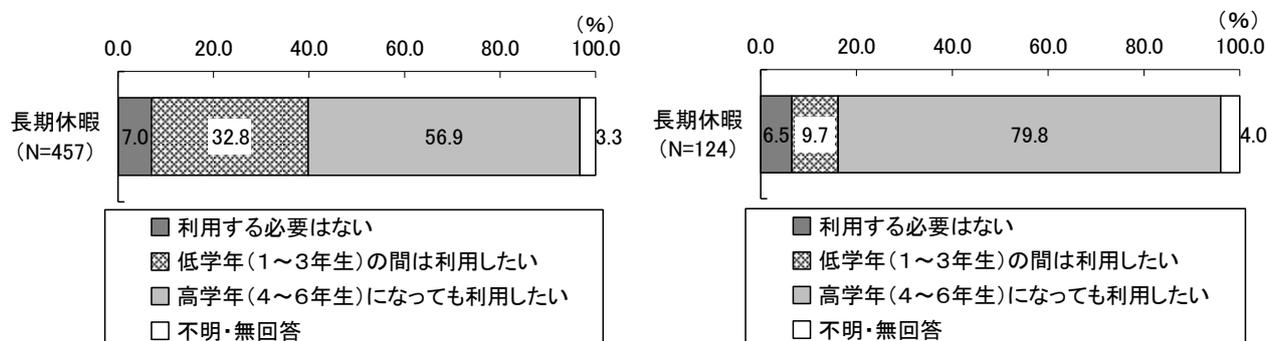
○希望する放課後の過ごし方について、「放課後児童クラブ」は、就学前の低学年で約6割、高学年で約4割となっています。小学生では低学年で約4割、高学年で約2割となっています。

○長期休暇中の放課後児童クラブの利用希望は、就学前・小学生ともに「高学年（4～6年生）」になっても利用したい」が最も高くなっています。

### ■希望する放課後の過ごし方〔就学前：問32、小学生：問21〕



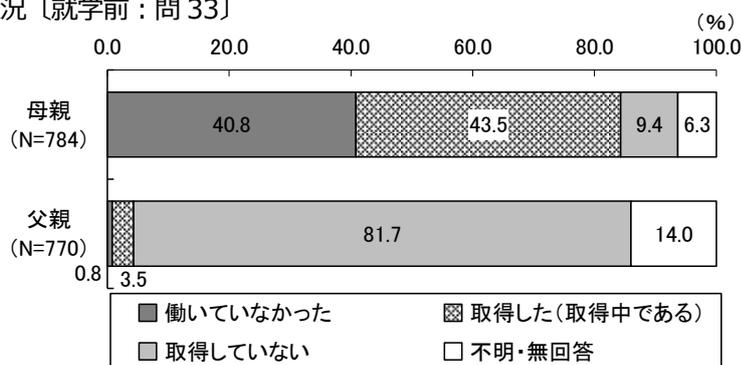
### ■長期休暇中の放課後児童クラブの利用希望〔就学前：問32-1、小学生：問21-2〕



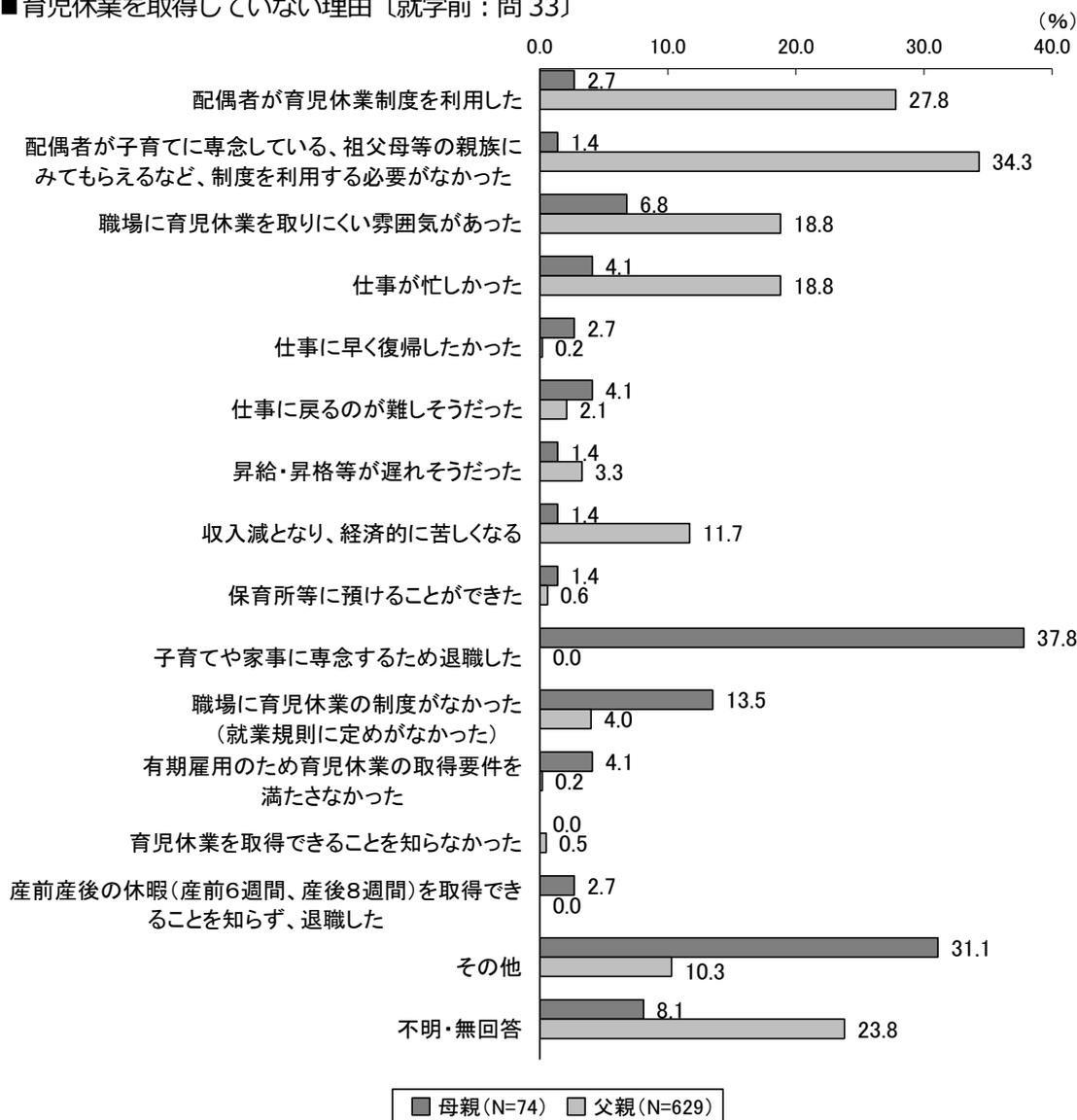
## 6. 仕事と子育ての両立について

○育児休業の取得状況は、母親は「取得した（取得中である）」、父親は「取得していない」が最も高くなっています。また、育児休業を取得していない理由については、母親は「子育てや家事に専念する為に退職した」、父親は「配偶者が子育てに専念している、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が最も高くなっています。

### ■ 育児休業の取得状況〔就学前：問 33〕



### ■ 育児休業を取得していない理由〔就学前：問 33〕

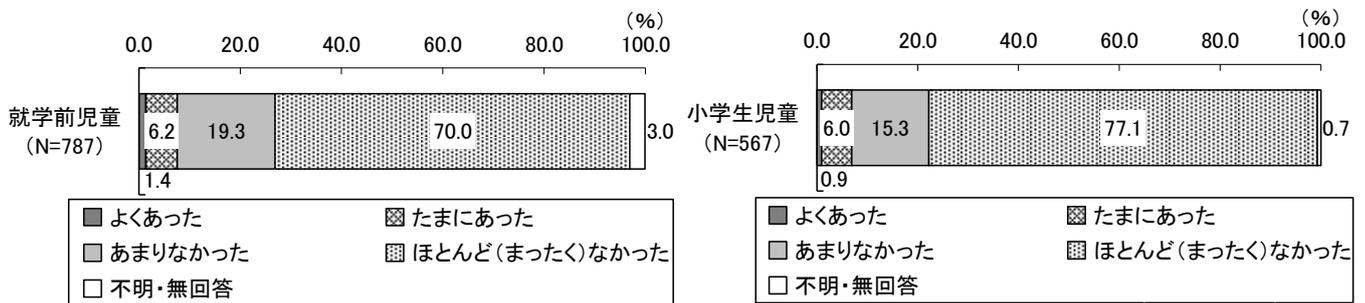


## 7. 暮らしの状況について

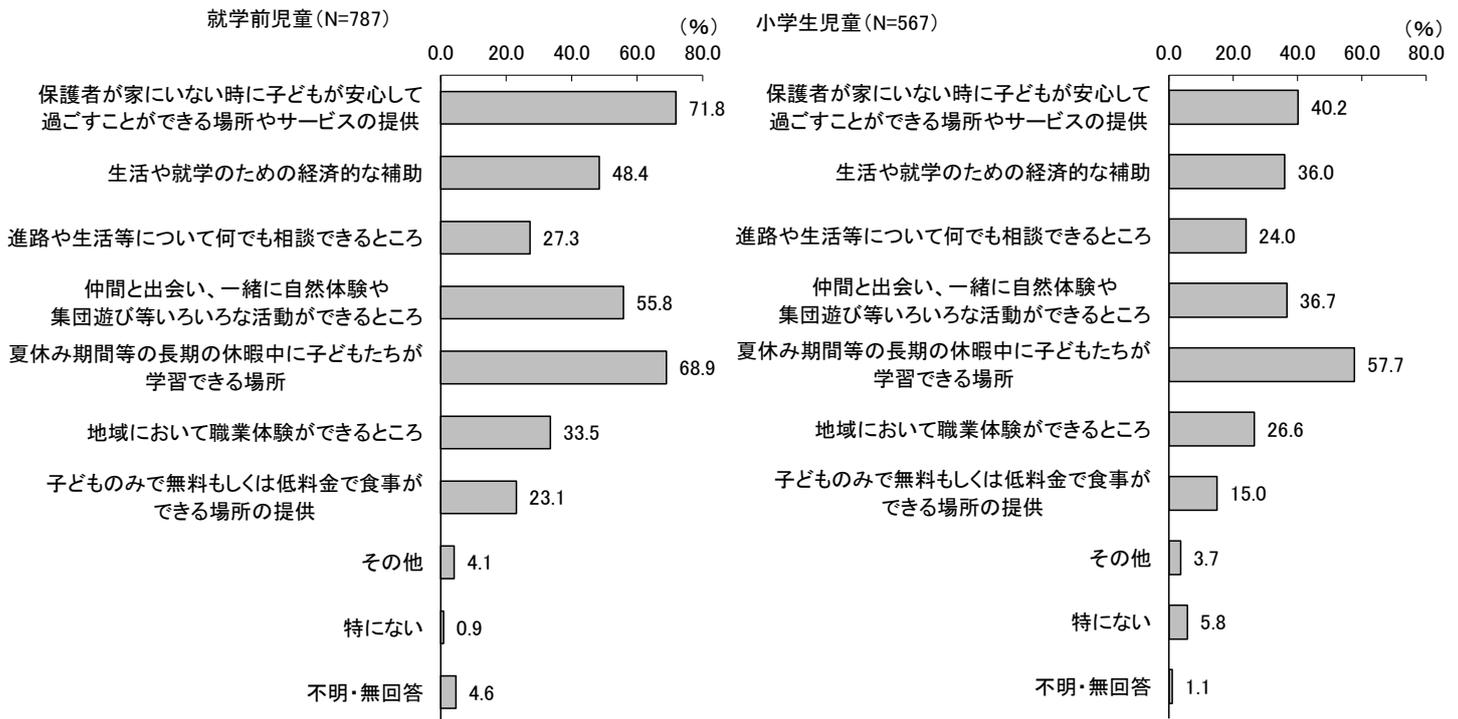
○経済的な理由でお子さんに必要なものが買えなくて困った経験は、就学前・小学生ともに「ほとんど（まったく）なかった」が約7割となっています。

○現在または将来的に望む支援として、就学前は「保護者が家にいない時に子どもが安心して過ごすことができる場所やサービスの提供」、小学生は「夏休み期間等の長期の休暇中に子どもたちが学習できる場所」が最も高くなっています。

### ■経済的な理由でお子さんに必要なものが買えなくて困った経験〔就学前：問 37、小学生：問 22〕



### ■お子さんにとって、現在または将来的に望む支援〔就学前：問 40、小学生：問 25〕

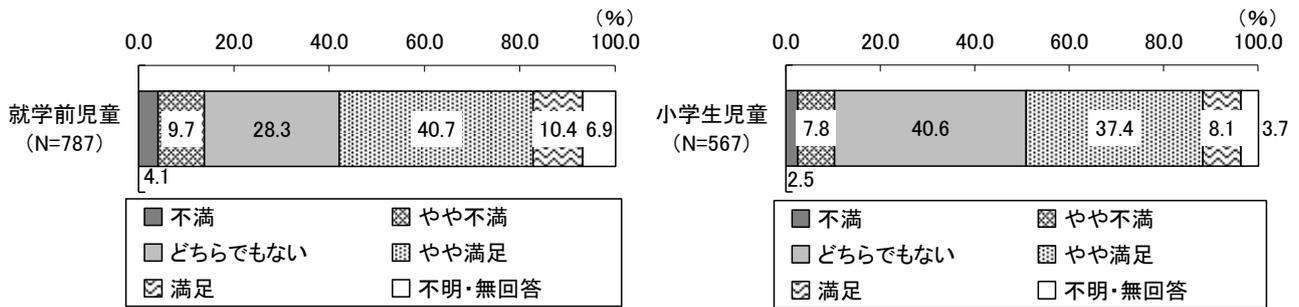


## 8. 子育て支援施策全般について

○子育ての環境や支援への満足度は、就学前は「やや満足」、小学生は「どちらでもない」が最も高くなっています。

○望ましい子育て支援施策は、就学前・小学生ともに「子育てにおける経済的負担の軽減」が最も高く、次いで「子育てのための安心、安全な環境整備」となっています。

### ■子育ての環境や支援への満足度〔就学前：問41、小学生：問26〕



### ■望ましい子育て支援施策〔就学前：問42、小学生：問27〕

